

主なアンケート調査・市民意見等の要望等に対する部会での検討事項について

路線	要望等	要望等に対する、部会での検討内容	部分改正での検討	
赤池線 (6)	日進駅での待機中、バス車内で待機させてもらえずに降ろされてしまうので、市役所発着としてほしい。(日進駅発着は不便)	他の路線の発車時刻に合わせ運行ダイヤの修正により対応することは可能ではないか。	○	日進駅発着を取りやめ、全便市役所発着にしてダイヤを検討。
	南部福祉会館に止まらない	交通量が多く、下り坂でスピードが出やすい県道の折戸寺脇交差点付近にバス停を新設するのは、交通安全上望ましくない状況。できれば、最寄バス停である米野木線の寺脇バス停をご利用いただきたい。	×	交通安全上、現状バス停設置は難しい。
	平子南～藤塚南間の距離が長く、通学等に不便	南山ノ手線上にバス停を新設することは、可能ではないか。ただし、バス停設置候補地は交通安全上懸念点もあるため、交通安全上の配慮が必要であると思われる。	▲	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。ただし、道路形状等交通安全上懸念点があるため、設置可能性については精査の必要がある。
	スポーツセンターにバスで行けない	スポーツセンター前のバス停設置については、可能ではないか。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	赤池小学校等は乗る人が少ない 箕ノ手西～箕ノ手東は乗降者がいない	赤池小学校を含むルートについては、民間バス路線等他の交通機関が通っていないことから、くるりんばすでカバーすべきエリアである。また、箕ノ手西や箕ノ手東については、将来に向けて必要となってくるバス停であることから、部分修正による撤去や路線変更は今回は考えない。	×	部分修正にて、該当バス停の廃止については実施しない。
	市民会館まで乗り入れてほしい	赤池線の課題として受け止めて考えると、市民会館への安全な乗入には3～5分程度の延長が必要となる。ダイヤ構成上及び運転手の休憩時間確保の観点等から見て一部修正による乗り入れ実現については、大変厳しい状況であり、全線改編の折改めて検討していきたい。	×	他路線との接続、運転手の労務管理上、部分修正での市民会館乗り入れは難しい。全線再編にて検討を実施する。
米野木線 (4)	日進駅での待機中、バス車内で待機させてもらえずに降ろされてしまう。市役所発着としてほしい。(日進駅発着は不便)	他の路線の発車時刻に合わせ運行ダイヤの修正により対応することは可能ではないか。	○	日進駅発着を取りやめ、全便市役所発着にしてダイヤを検討
	日進駅方面から、米野木駅により早くアクセスしたい	36番日進団地から45番米野木駅へ直接乗入すると、安全上3～5分程度の延長が必要となり、これ以降のバス停における着ダイヤが全て遅くなってしまいます。従って、今回の一部修正では、36番日進団地～37番米野木台二丁目間にバス停を新設することにより、極力ダイヤに影響がでないよう現在の利用者にも配慮した検討をする。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	道路の新設と、通行方法の変更により、安全性を確保するうえでバス停の移設と一部路線の変更が必須となる(藤島一号線への路線変更)	岩崎線の路線変更にあわせて、藤島公会堂バス停を公会堂南側へ移設することにより岩崎線と米野木線の両方が利用できるよう利便性の向上を図るように検討をする。	○	部分修正にて既存バス停位置を変更して運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	郵便局やスーパーにより近くで乗車したい	44番本米野木と45番米野木駅との間、米野木郵便局付近の県道沿いにバス停を新設するほか、37番米野木台二丁目～38番福成間にバス停を新設し、駅周辺への利便施設等へのアクセス向上を図るほか、三本木線と米野木線のバス停の選択利用による行先の拡大及び利便性向上を検討する。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
三本木線 (4)	郵便局やスーパーにより近くで乗車したい	44番本米野木と45番米野木駅との間、米野木郵便局付近の県道沿いにバス停を新設するほか、37番米野木台二丁目～38番福成間にバス停を新設し、駅周辺への利便施設等へのアクセス向上を図るほか、三本木線と米野木線のバス停の選択利用による行先の拡大及び利便性向上を検討する。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	日進ニュータウンバス停の移設	土地利用上の都合による移設要望に対応し、新たなバス停設置場所について検討をする。	○	部分修正にて既存バス停位置を変更して運行することを検討。公安協議、地域協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	日進駅に乗り入れてほしい	大幅なルート修正が必要と考えられる。ダイヤ構成上及び運転手の休憩時間確保の観点等から見て一部修正による乗り入れ実現については、大変厳しい状況であり、全線改編の折改めて検討をする。	×	他路線との接続、運転手の労務管理上、部分修正での日進駅乗り入れは難しい。全線再編にて検討を実施する。
	東部福祉会館北に止まってほしい	バス停を安全に設置する場所がないことから、現状困難。	×	交通安全上、バス停設置は難しい。
梅森線 (2)	区画整理地区による宅地開発及び公共交通空白地帯の一部解消	将来の環境変化への対応及び他の公共交通路線が存在しない地域を手当てするため、86番南高上～87番新田間における香久山西部土地区画整理地区付近(梅森保育園付近)にバス停の新設を検討をする。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	赤池駅ロータリーへ乗り入れてほしい	赤池駅への安全な乗入には3～5分程度の延長が必要となり、ダイヤ構成上及び運転手の休憩時間確保の観点等から見て一部修正による乗り入れ実現については、大変厳しい状況であり、全線改編の折改めて検討をする。	×	他路線との接続、運転手の労務管理上、部分修正での赤池駅ロータリー乗り入れは難しい。全線再編にて検討を実施する。
五色園線 (1)	東部福祉会館北に止まってほしい	バス停を安全に設置する場所がないことから、現状困難。	×	交通安全上、バス停設置は難しい。
岩崎線 (2)	道路の新設と、通行方法の変更により、安全性を確保するうえでバス停の移設と一部路線の変更が必須となる(藤島一号線への路線変更)	現路線の一部について、藤島一号線への切り替えを行い、道路運行上の安全性の向上を図るとともに、159番藤島公会堂のバス停の移設により米野木線の利用も可能となるよう、選択肢の拡大を図り、地域住民の利便性向上について検討をする。	○	部分修正にて既存バス停位置を変更して運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	香久山方面に行きたい。岩崎台・香久山福祉会館へ行きたい。	本路線で香久山方面へ直接乗り入れを図ろうとすると、芦廻間以降のバス停ダイヤが現行から7～8分ほど遅くなってしまふことが大きな課題。図書館へのルートを削り、市役所での運転手の休憩時間(待機時間)の短縮調整の実施で、香久山への乗入便が一部便で可能となるのではないかと考えられる。岩崎線で直接図書館へ行くのに利用している市民等に対する事前周知を徹底し、可能な範囲において修正を検討、一部改善に向けて事業者と十分協議調整して最終的に判断をする。	○	図書館バス停を現中央福祉センターバス停へ統合して路線のスリム化を図り運行時間を短縮し、ダイヤ調整を実施することで、一部香久山経由便が設定できるよう検討する。
循環 (2)	スポーツセンターにバスで行けない	スポーツセンター前のバス停設置について、検討をする。	○	部分修正にて設置をして運行することを検討。公安協議、地権者等関係者協議の上、設置を検討する。
	南部福祉会館に止まらない	交通量が多く、下り坂でスピードが出やすい県道の折戸寺脇交差点付近にバス停を新設するのは、交通安全上望ましくない状況。できれば、最寄バス停である米野木線の寺脇バス停をご利用いただきたい。	×	交通安全上、現状バス停設置は難しい。
全体	バスが定刻通りにこない	乗務員の休憩時間の確保を含め、安全運行の徹底のほか、街の発展に伴う渋滞の増加等を反映し、実態にあったダイヤ調整を可能な限り行う。	○	交通事業者と協議の上、現状に合ったダイヤに調整する。

凡例 ○：部分修正での実施方法を検討する ▲：部分修正で実現する可能性について検討する ×：部分修正での実現は難しい

※双方向、くるりんばすの券による名鉄バス中央線の利用などの要望については、今回の一部修正で改善することは困難であるため、全線改編時に改めて検討課題とする。

※上記修正検討事項は、交通安全上の公安協議や、運輸局の許認可、運行経費等の検証前のものであります。したがって今後の各協議等において、検討内容等が変更となる可能性があります。